



NIPPON BEARING

8月28日付 日本経済新聞広告 回答と解説

【問題】ベアリングの活躍でスムーズに機能している医療機器は？

- ① 点滴装置 ② AED ③ CTスキャン

【答え】③CTスキャン

【解説】

ベアリングが活躍している医療機器はCTスキャンです。人体の断層像を撮影することが出来るCTスキャン。体の内部を細部まで撮影することが出来る優れモノです。しかし、それだけ細かな撮影を行うとなると、機能・性能はかなり高いレベルが要求されます。

そこで、活躍しているのがベアリングです。まずは、撮影のために人を乗せたまま動くベッド。ベアリングを使用することで、ガタつくことなく滑らかに、更に正確なスピードでベッドを動かすことが可能になりました。

次に、人体の周りを回りながら撮影するカメラ。

CTスキャンの特徴である人体の断層像を撮るために、カメラはベッドが通り抜ける輪のような部分を回っています。(カバーで覆われているため、直接カメラは見えません。)

振動無く動くことで、正確な画像を撮影することが出来ます。

更に、騒音も抑えることで、患者さんの負担も軽減しています。このように、ベアリングの活躍によりベッドとカメラの動きが一体となって正確な画像を撮影しているのですね。

選択肢①の点滴装置は、体調が悪い時にお世話になった方も多いのでは無いでしょうか？

昔からよく見るタイプのもは、チューブの圧力を調整して輸液の量を調整しています。

より正確に輸液の量を調整する場合、輸液ポンプ等の装置を使った点滴装置を利用します。

選択肢②のAEDは、日本語に訳すと自動体外式除細動器と呼ばれるもので、心臓救命装置です。電流を利用して心臓の状態を判断し、更に電気ショックで心臓の状態を正常に戻す機能をもっています。最近では、公共の施設には必ず設置されている医療機器です。

実は、CTスキャン以外にもベアリングが活躍している医療機器はあります。

MRIや歯科用ハンドピース(歯を削る機器)などです。

ベアリングは、見えないところで私たちの健康・命を支えている陰の実力者なのです。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】